

和木小学校コミュニティスクールだより

緑の風



令和5年・4月号

ホーム <http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/> E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

校訓 道を行うに誠実をもってせよ（何事も本気でまじめにやれ）

令和5年度のスタートにあたり



校長 河口 龍裕

温かな春の日差しを受けながら、いよいよ令和5年度が始まります。この度、岩国市立錦清流小学校より着任しました校長の河口龍裕（かわぐちたつひろ）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本年度は、65名の新生を迎えて、全校児童403名、14学級でのスタートとなります。学校教育目標に「夢と希望に満ちあふれ、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる和木っ子の育成」を掲げ、校訓

「道を行うに誠実をもってせよ」を生かした児童の意欲と活力に満ちた学校をめざして進んで参ります。1年間通して、「温かく楽しい学校」「みんなに愛される学校」「明るく美しい学校」となるように子どもたちとともに教職員一同全力で教育活動に取り組みます。

日々、学校では、子どもたちの「やる気スイッチ」の源となる「自己肯定感」や「自己効力感」を味わせつつ子どもたちを伸ばしていきたいと考えます。「自己肯定感」は、自分はどんな時でもありのままの自分で大丈夫という自分への信頼を表し、「自己効力感」は、自分は頑張ればどんなことでもできるという自分への信頼を表しています。「自分は、走るのが苦手だけれども、それでも自分のことが好きだ。」というのが「自己肯定感」です。

「自分は、縄跳びが苦手だけれども、自分なら練習すればきっとできるようになる。」というのが「自己効力感」となります。この2つがそろって自分自身に安心感を持ちながら様々な事に挑戦していく土台となるのです。

「自分で自分のことが好きだと言える心」の基とも言えます。

子どもたちに自信を持たせつつ、教育を推進するためには、学校、家庭、地域の連携が必要です。保護者・地域の皆様のご理解とご支援なしに本校の教育を進めることはできません。どうかお力添えをお願いいたします。和木小学校は、「和木っ子」の育成のために地域に積極的に学校を開き、「地域とともにある学校づくり」と「園小中一貫教育」をさらに進めて参りたいと考えております。保護者・地域の皆様もご意見やお気づきなどございましたらご遠慮なく学校までお寄せください。本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



【お知らせとお願い】

新学期におけるマスク着用の考え方について、「学校教育活動に当たってマスクの着用を求めないことを基本とする」等の見直しが発表されました。これらを受けて本校でも、新型コロナウイルス感染防止対策について以下のように進めたいと思いますのでご理解と協力をお願い申し上げます。

- 令和5年4月1日以降の新学期におけるマスクの着用は、個人（保護者）の判断に委ねることとします。（常にマスクの準備は、お願いします。）
- ご家庭で行っていただいております、登校前の検温と「家庭での健康観察カード」の記入については、不要とします。
- 学校では、引き続き、登校時のサーマルカメラ等による検温、授業中の常時換気、手洗いの励行、給食前のアルコール手指消毒等、新型コロナウイルス感染症対応を行って参ります。
- 様々な事情により、マスクの着用を希望される方もいらっしゃいます。マスクの着用の有無による差別・偏見等がないよう、学校とご家庭で適切に指導していきましょう。